

## 令和5年度 高校生防災アクション 実施報告書

学校名	岐山高等学校
テーマ	防災力・減災力を高めよう
1 目標 校舎の安全状態の確認と自然災害への備え、災害発生時の行動を考える	
2 自校で取り組んだこと 5月 第1回命を守る訓練(避難訓練) 防災リーダーの選任(生徒会役員4名が立候補) 防災意識向上シート地への記入 第1回減災力テスト実施 6月 第2回命を守る訓練への取り組み方針打ち合わせ(防災リーダー) 8月 清流の国岐阜防災・減災センターでの研修(防災リーダー) 10月5日 全校生徒による「第2回命を守る訓練」実施 校舎建設による仮校舎移転での地震対策状況について、生徒全員参加で校舎内の安全点検を実施。 11月 第3回命を守る訓練(シェイクアウト訓練) 12月 授業で防災・減災の意識を高める ・岐山高校のハザードマップ(洪水、土砂災害、地震、液状化)を画面に映し出し、本校の「自然災害マニュアル」に基づいて、避難方法を説明した。 ・次に各自の住まいのハザードマップ調べ、家庭内DIGの実施、ローリングストック・災害に備える物の説明、紙の食器作りなど実施した。 第2回減災力テスト実施	
3 自校で取り組んでいく際にあった困難とその解決に向けて努力や工夫したこと ・学校行事日程の変更により第2回命を守る訓練の準備日程が窮屈であったにもかかわらず、防災リーダーの努力で成果の多い実践ができた。 ・減災力テストの内容を参考に、より意識が高められるよう、授業でも取り組んだ。 ・報道機関も来ていただいて成果を広く伝えることができた。	
4 目標に対する成果 ・減災力テスト(対象 1年:40名) 1回目 平均点 46.0点 → 2回目 平均点 59.2点 減災力テストの結果、多くの項目で1回目「×」または「△」から2回目「○」にした生徒が増えた。これは、3回の「命を守る訓練」を行ったり、授業でハザードマップを調べたり、防災・減災の方法を学んだ結果による。特に第2回目の「命を守る訓練」に視聴した地震発生時の屋内の様子の動画は、防災・減災対策についてより考えを深めることができた。テストの項目で点数が低いのは「災害から命を守る近所付き合い」についてである。自助に関しては意識が高まりつつあるが、近隣でお互いに助け合う互助についても意識を高める必要がある。	
5 目標に対する今後の課題 「第2回命を守る訓練」の実践テーマをどうするか。(毎年ここに苦労している) 防災リーダー主導の全校生徒対象とした訓練の持ち方の工夫。	

(別紙2)

6 自校における来年度の取組（本年度の学びをどのように引き継ぐか、または深めるか。）  
生徒会防災委員会を立ち上げて、年間を通じて継続的に取り組んでいきたい（数年前に却下されている）